

アクアポニックス推進協会 ご案内資料

持続可能な食料生産の新しいかたち



アクアポニックス推進協会

Aquaponics Association



協会設立の背景

日本における農水産業が抱える課題

調達

- エネルギー高騰 (2020年→2023年で**1.5倍**)
- 肥料価格の高騰 (2020年→2024年で **4倍**)
- 魚粉価格の高騰 (2020年→2024年で **2倍**)

生産

- 低い自給率 (野菜**79%** [主要国平均**88%**] 養殖**24%** [世界平均**54%**])
- 環境負荷 (肥料やエサが**土壌や水を汚染**)
- 人件費の高騰 (2020年→2023年で**11%**上昇)

流通

- ブランディング (アクアポニックス産生産物の**価値訴求**が不足)
- 流通が未整備 (**生産・物流最適化**が図れていない)

「アクアポニックス」を産業として定着へ



理事の紹介



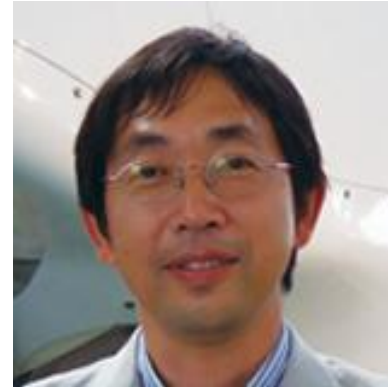
濱田健吾 代表理事
(株式会社アクポニ 代表取締役)
アクアポニックスのパイオニア



遠藤雅人 理事
(東京海洋大学 准教授)
アクアポニックス研究者



山田 智 理事
(鳥取大学 教授)
アクアポニックス研究者



竹村 明洋 理事
(琉球大学 教授)
アクアポニックス研究者



飯沼正樹 理事
(マナの菜園)
日本最大の農園を運営



南楚 幸信 理事
(一般社団法人ジャパン・
オーガニック・コンソーシアム 代表理事)



百津 正樹 理事
(株式会社アクト・ノード
代表取締役)
元IBM ITアーキテクト



石川 元 理事
(PLUS+ 代表)
元イオン 流通専門家



怒和 亜里寿 監事
(株式会社アクポニ)
アクアポニックス研究者



目的・活動内容

<ビジョン> **アクアポニックスで育む、持続可能な未来**

<目的> 次世代農業モデルとしてアクアポニックスを確立し
持続可能な未来を支える新たな枠組みを構築する

- <主な活動内容>
1. **認証制度の整備**
 2. 補助金制度との接続
 3. 普及・啓蒙活動

アクアポニックス推進協会
Aquaponics Association

HOME 協会について 活動内容 入会案内 お知らせ メディア・資料 サポート・寄付 お問い合わせ





なぜ認証制度なのか？

認証制度は、見えにくい「アクアポニックスの価値」を社会とつなぐ仕組み

アクアポニックスの価値 × 認証制度 = 社会的信頼性

- ・場所を選ばない。大規模周年栽培
- ・安全性（無農薬/無化学肥料/無除草剤）
- ・省資源化・省エネ化・省力化
- ・多様な活用（観光、教育、福祉等）

アクアポニックスの価値を基準化・可視化し、社会的理解と選択につなげる仕組み

消費者・行政・企業が共感し、支援・選択するための共通言語



認証

- ✓ 省資源
- ✓ 管理
- ✓ 品質





認証制度の目的

- <目的>
1. 生産能力のレベルアップ：生産体制・技術の向上支援
 2. 評価の可視化：消費者との信頼構築と情報共有

「選ばれる生産者」へと導きます



補助金・販路開拓で有利



ブランド価値の向上



安心して購入できる

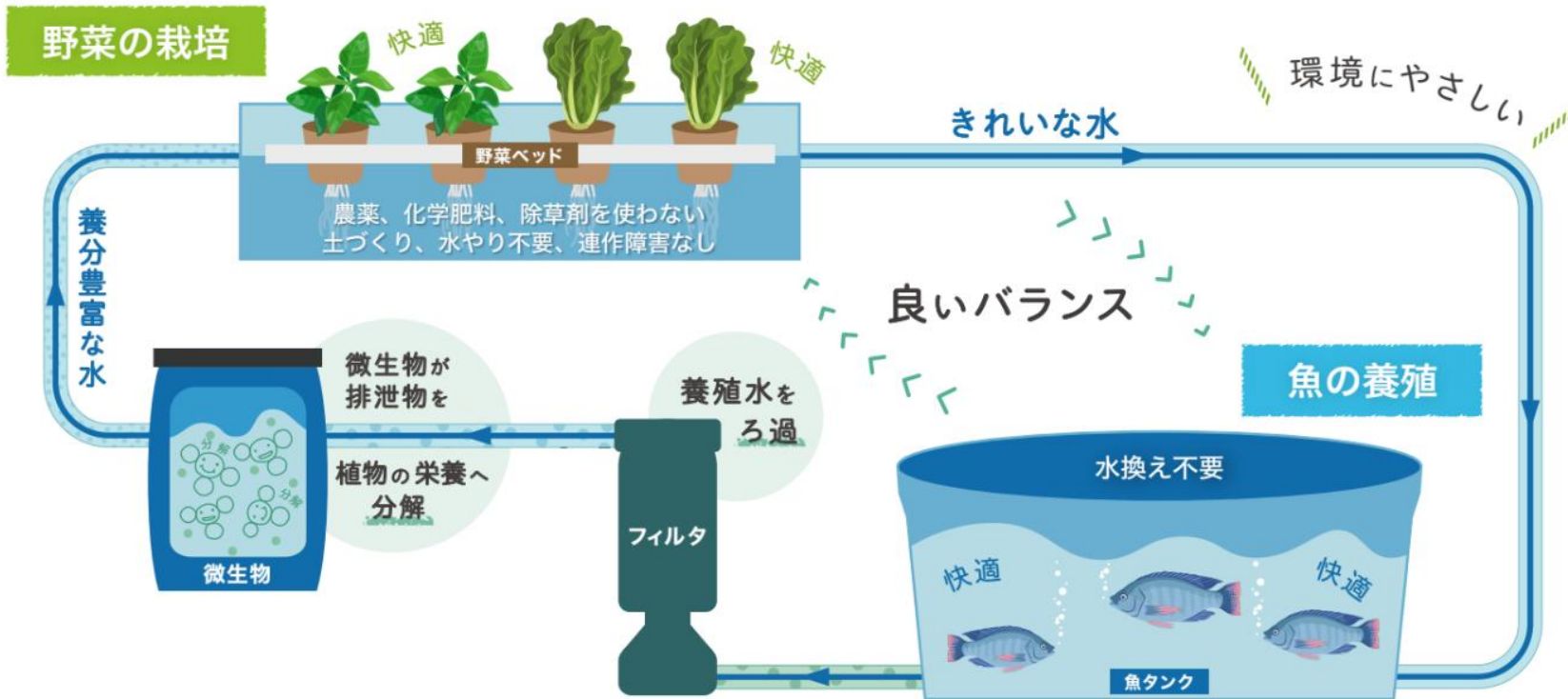


地域資源や環境負荷への配慮が伝わる



アクアポニックスとは？

水耕栽培と養殖をつなげた循環型の栽培システム



エサの窒素量を100%としたとき

陸上養殖

魚 **88%**が廃棄

肥料として活用

アクアポニックス

魚 野菜 循環水

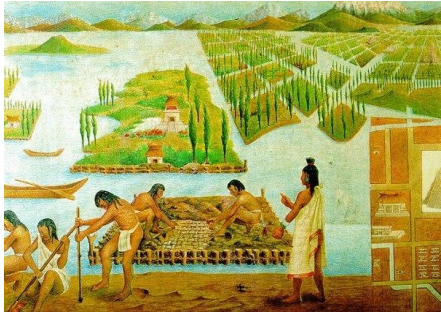


アクアポニックスの歴史

原型

西暦1000年頃

メキシコ原住民
アステカ族による
「チナンパ」



実用化

1970年～

アメリカ
バージン諸島
で実用化



商業化

1980年～

資源の不足して
いる島や乾燥地
などで活用



現在

2020年～

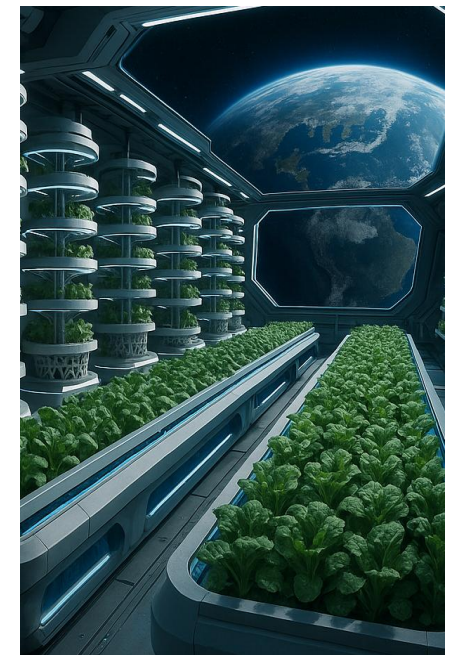
持続可能な食料
生産方式として
世界へ拡大中



未来

2040年～

宇宙における
循環型食料生産
として研究中



参考：[アクアポニックスの歴史](#)



アクアポニックス先進国：アメリカの状況

全米の商業アクアポニックス数：約190

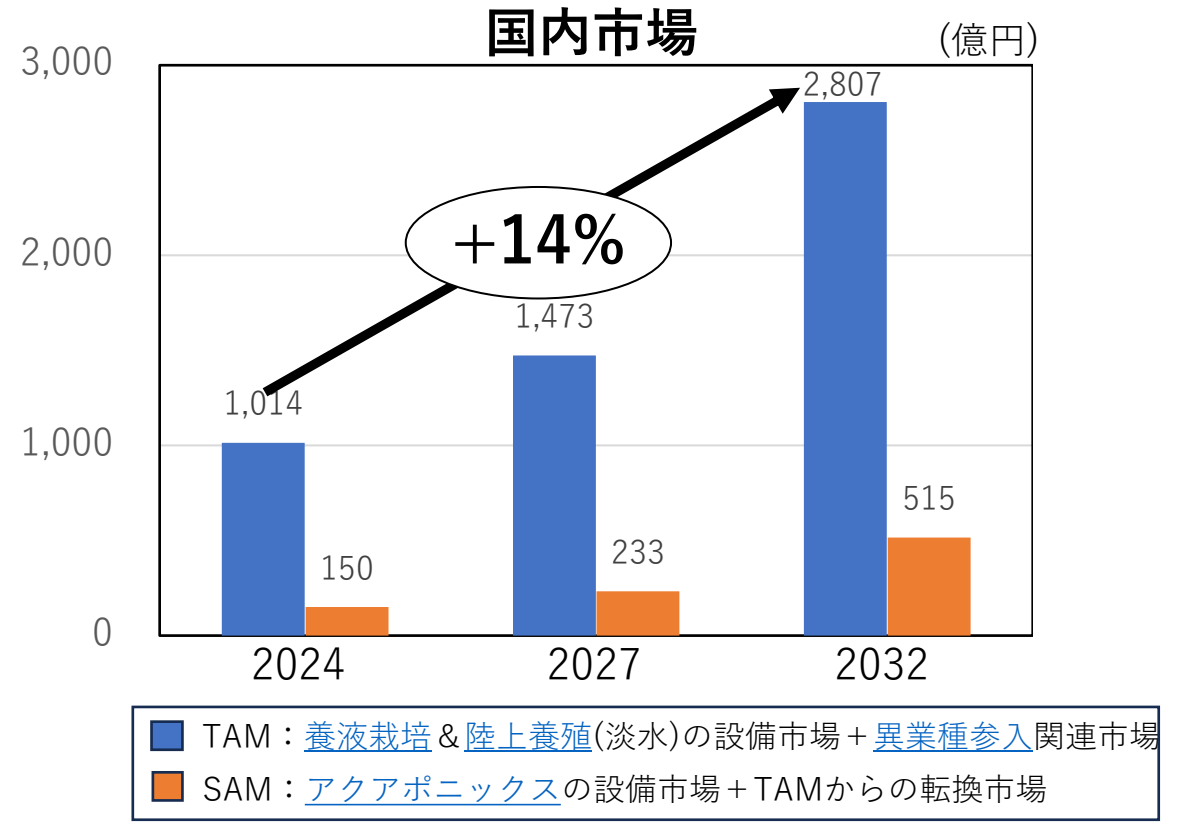
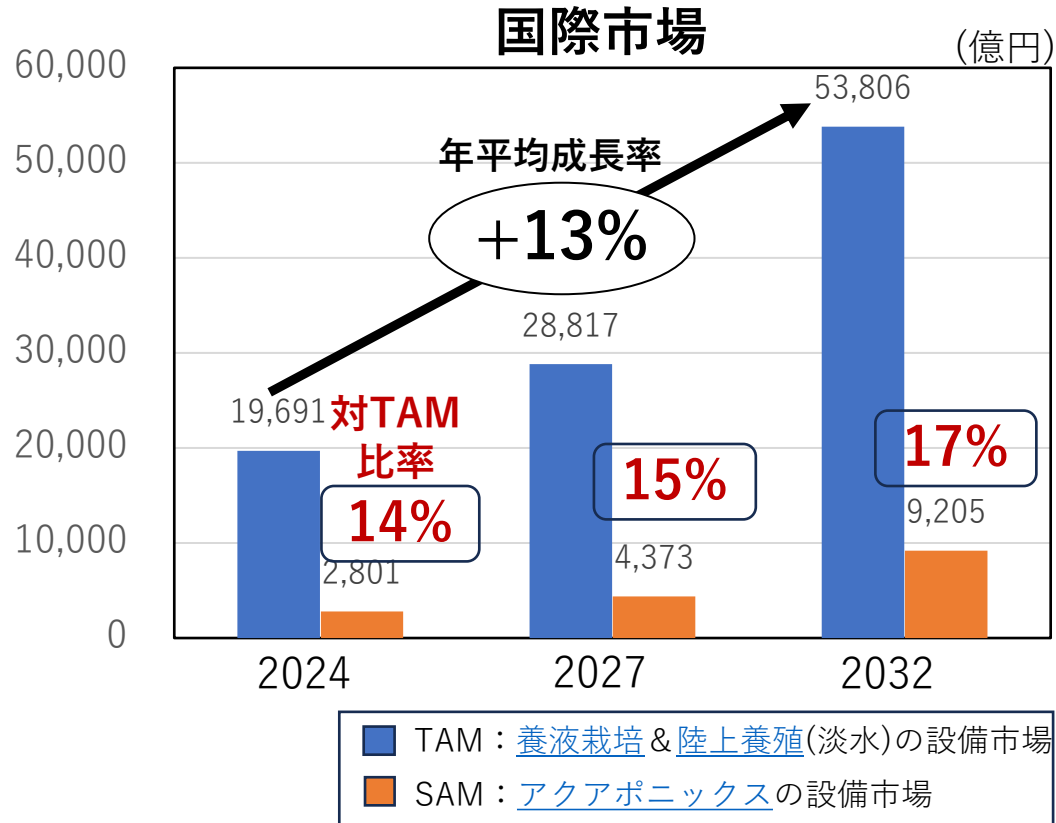


個人の消費欲が多様化（地元産・安全性・高品質・環境保全）

生産や流通方法も多様化→市場拡大



市場規模と成長性



【背景】現在の農水産業の課題と機会

持続可能な農業への移行 ・ 技術革新の導入 ・ 消費者ニーズへの対応

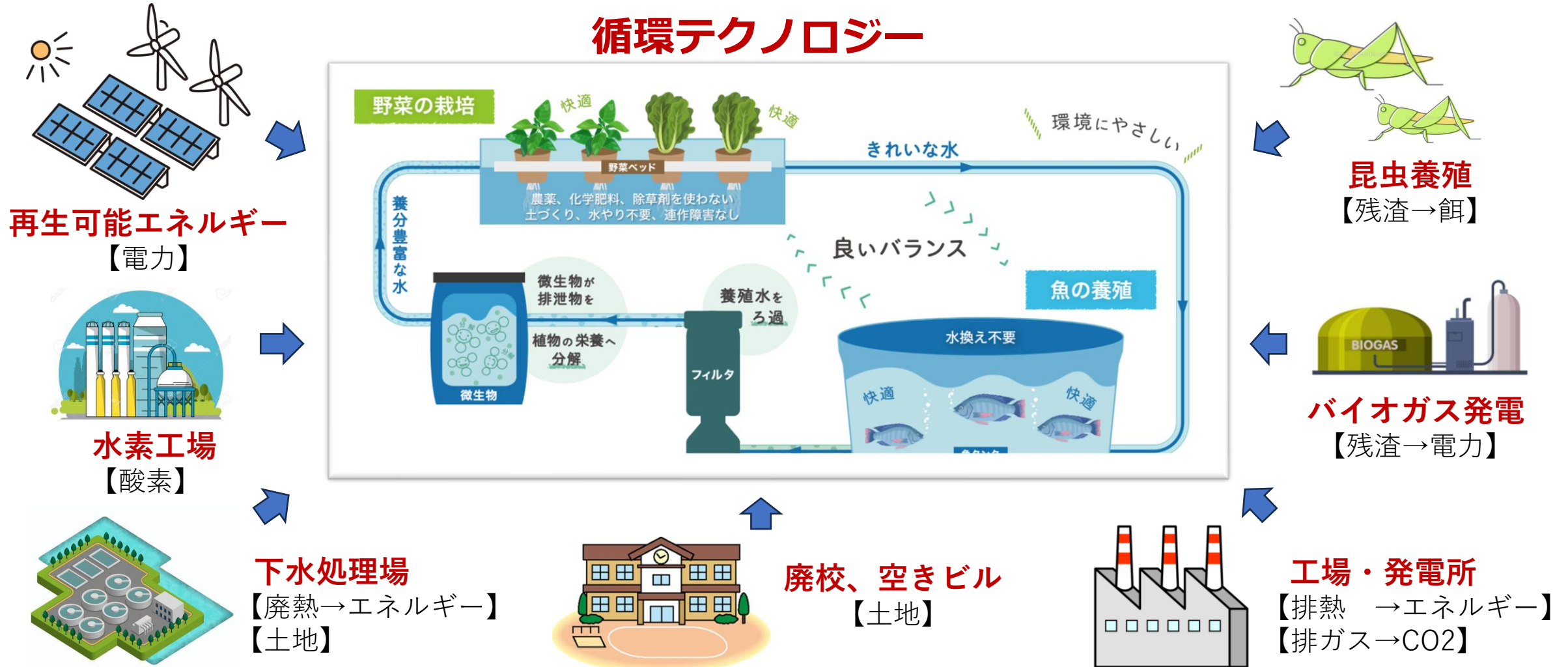
アクアポニックスの普及とイノベーションを促す



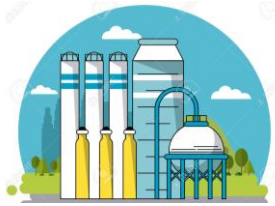
地域資源循環のプラットフォーム

“循環”があることで、地域で使える資源・エネルギーが増える→環境負荷が減る

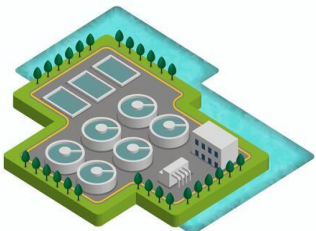
循環テクノロジー



再生可能エネルギー
【電力】



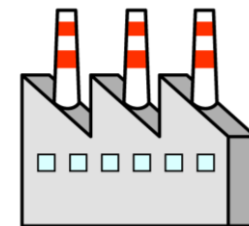
水素工場
【酸素】



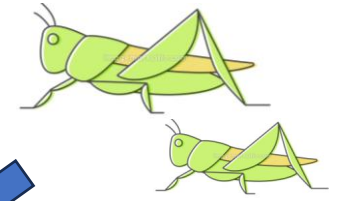
下水処理場
【廃熱→エネルギー】
【土地】



廃校、空きビル
【土地】



工場・発電所
【排熱 →エネルギー】
【排ガス→CO2】



昆虫養殖
【残渣→餌】



バイオガス発電
【残渣→電力】



ご参加の案内

<入会の特典>

- 認証制度（会員は取得料が割引）
- 農場見学（会員は参加費無料）
- 勉強会（会員は参加費無料）
- イベント（会員は参加費無料）
- 研修（会員価格の受講料が適用）
- デカップリングシステム<特許第6739709号>（会員は特許使用料無料）
※循環型及び非循環型の アクアポニックスを選択的に実施できる生産システムについての技術です
- 当協会ホームページに団体名、ロゴマーク、リンクを掲載いたします
- ウェブサイトや名刺などに当協会のロゴをご使用頂くことが可能です
- コンサルティングサービスおよび会員ネットワークを活用した専門家紹介、事業協力のための会員企業紹介サービスを特別価格で利用できます

<入会費・年会費>

	入会費	年会費
正会員（法人）	1万円	5万円
賛助会員（個人）	3千円	1万円



入会申込
公式サイトへ

**共に連携し、力を合わせて、
アクアポニックスの産業化と未来の発展
を実現します。**



アクアポニックス推進協会
Aquaponics Association